

平成 29 年度高知県食の安全・安心推進審議会分科会報告
「農作物の機能性」

日時：平成 29 年 11 月 30 日（木）15:10～16:40

場所：高知県職員能力開発センター 201 号室

参加者：委員 7 名（西岡委員、佐々木委員、久委員、谷委員、坂本委員、
能勢委員、野村委員（座長））

幹事課：食品・衛生課（説明者 大野）

参加関係課：産地・流通支援課、地域農業推進課、高知市保健所

話題提供

農作物の機能性については、国及び県の農業系研究機関で様々な研究が行われており、最近では高知県農業技術センターがナスの機能性表示の実現に向けて取り組んでいるため、現状としてこれらの事例を紹介。

また、農作物等に機能性表示をするためには、様々な法令を満たす必要があるため、安全性評価や機能性評価など様々なデータを集める必要があること、また、機能性成分の含有に差がでないように品種や栽培方法等を確立する必要があることを説明。

既に「機能性表示食品」として市販されている生鮮食品の表示を例示したほか、その他の表示上の留意点（食品表示法、健康増進法）について話題提供を行った。

（分科会時点で機能性表示食品として販売されているのは、みかんともやしの 10 品目）

主な質疑応答及び意見交換

- ・ナス以外に何か研究はされているのか。
→ナスを含めて 15 品目。高知県の主要作物を選んで実施。
- ・野菜の機能性の研究が進められていることがわかった。

話題提供

県産ニラの栄養素を調べ、含有量を比較した P O P 案を作成。（3 種類）

ご意見

- ・スーパー等の陳列台に貼るのであれば、黄色ベースのものが目立ち、見やすく
て良い。